

2018年1月23日

トヨタ・モビリティ基金、 ブラジルにて、都市中心部へのアクセスを改善する モビリティソリューション構築を目指すアイデアコンテスト 「InoveMob Challenge」を実施

一般財団法人トヨタ・モビリティ基金(Toyota Mobility Foundation。以下「TMF」)は、ワシントン D.C.に本拠地を置き、地球環境や都市交通の課題に取り組む非営利団体ワールド・リソース・インスティテュート(World Resources Institute。以下「WRI」)ブラジルと共に、「InoveMob Challenge」と題し、都市中心部へのアクセスを改善するモビリティソリューションの構築を目指すアイデアコンテストを実施する。

市長連合会(Frenta Nacional de Prefeitos。以下「FNP」)の協力により、市長や市の代表者が選考に参加し、アイデアの有効性を確認する実証実験を経た上で、最優秀賞を決定する。

ブラジルでは急速な経済発展に伴う都市部での交通需要の急増により、慢性的な交通渋滞や、大気汚染の問題に直面している。特にオフィス街、商業施設、教育機関が集中する都市中心部において問題は顕著であり、WRI ブラジルの調査によれば、ブラジル都市部の市民は年間に約 10 日～15 日を交通渋滞によって失っているという。地元政府は駐車場や道路の拡張などの対策を実施しているが、交通需要の増加は著しく、問題は解決していない。その一方で、シェアリングサービス等の様々な移動手段が誕生している。

「InoveMob Challenge」では、従来とは異なる発想の移動手段を活用することで、都市中心部へのアクセスを改善する革新的なモビリティソリューションの構築を目指す。

選考では、革新性、持続可能性、包括性、実現可能性、発展性を考慮し、書類選考によって 12 チームを選出する。選ばれた 12 チームは、ソリューション改良のためのワークショップに参加した後、FNP が主催するイベントにて市長や市の代表へソリューションを提案する。ソリューションの実施に興味を持つ市とマッチングし、実証実験を行う 5 チームが選ばれる。その結果を経て最優秀賞に選ばれたチームは、TMF および WRI ブラジルと共にソリューションを改良した上で、2020 年 12 月まで規模を拡大した実証実験を行う予定である。TMF は、各段階で選ばれたソリューションの実装実験の費用、総額 20 万ドルを提供する。

【InoveMob Challenge 概要】

- テーマ 都市中心部へのアクセスを改善する革新的なモビリティソリューションの構築
- 想定応募者 ブラジル国内のモビリティサービス事業者、技術系起業家、研究者等
- 選考スケジュール

①応募受付		2018年3月9日迄
②書類審査	12 チーム選出	2018年3月中
③ソリューション提案	5 チーム選出	2018年4月～5月
	(各チームへ実証実験費用 2 万ドル提供)	
④実証実験		2018年6月～11月
⑤最優秀賞決定	1 チーム選出(実証実験費用 10 万ドル提供)	2018年12月
	2020年12月まで規模を拡大した実装を実施予定	
- 詳細情報

- 応募およびコンテストの詳細は公式サイトを参照(ポルトガル語のみ)
InoveMob Challenge 公式サイト: www.desafioinovemob.org

WRI ブラジルの都市計画ディレクター、ルイス・アントニオ・リンダウ氏は次のように述べた。「合理的で、包括的で、かつ持続可能なモビリティを人々に提供することが必要である。こうした変革に取り組む都市は、より競争力を持ち、現在から将来にわたって人々の生活の質を向上させることができる。」

TMF のプログラムディレクター、ライアン・クレムは、「ラテンアメリカを代表する国の一つであるブラジルにおいて、革新的なモビリティソリューションが誕生することを期待している。真に効果的で持続可能なソリューションを生み出すことができるのは、地域の移動の課題を深く理解する革新者である。『InoveMob Challenge』を通じ、ブラジル全国の革新者へ挑戦の機会を提供することで、より良いモビリティ社会の実現に社貢献していきたい」と述べた。

TMF は、2014 年 8 月の設立以来、豊かなモビリティ社会の実現とモビリティ格差の解消に貢献することを目的に、タイやベトナム、インドでの交通手段の多様化や、日本の中山間地域における移動の不自由を解消するプロジェクトへの助成のほか、障害者向けの補装具開発を支援するアイデアコンテストの実施など、世界のモビリティ分野における課題に取り組んでいる。

今後も、トヨタの技術・安全・環境に関する専門知識を活用しながら、大学や政府、NPO や調査研究機関等と連携し、都市部の交通課題の解消、パーソナル・モビリティ活用の拡大、次世代モビリティ開発に資する研究などの取り組みをさらに拡大していく。

WRI は、ブラジルのほか、中国、ヨーロッパ、インド、インドネシア、メキシコ、米国に拠点を持ち、50 カ国以上で活動している世界的な研究機関である。450 人以上の専門家等が、様々な組織や団体と協力し、地球環境保護に関する各種取り組みを推進している。

WRI ブラジルは、気候変動、自然環境および都市のあり方に関して持続可能な方法でのブラジルの発展に向けた活動を行っている。

(問い合わせ先)トヨタ・モビリティ基金 担当: 男鹿谷
TEL : 03-3817-9960 E-mail : info@toyota-mf.org